

パソコン用ハードディスクデータ消去ソフトウェアの評価・認定の実施について

－協会活動の一層の透明化をめざす外部審議会も設立－

有限責任中間法人 中古情報機器協会 (RITEA)

我が国ではパソコンやサーバー等を中心に情報機器が大量に製造・販売されている一方、買い換えユーザーも増加しており、リユース（再使用）となる中古情報機器市場が拡大しておりますが、最近では、特に中古パソコンの流通台数が年々増加しております。この状況を踏まえ、当協会では、良質な中古パソコンの更なる普及を目指し、パソコンのハードディスクドライブ（HDD）内のデータを消去するソフトウェアの評価を検討してまいりました。そこで適切な対応をしているデータ消去ソフトウェアに対して認定資格を付与する「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格制度を実施することを定め、今回、第 1 回目の評価を行いましたので、その結果を本日発表致します。

パソコンは、膨大なデータの取り扱いをしておりますが、その HDD 内には大量のデータが保管されていることから、パソコンを売買・譲渡する場合は、情報漏洩の防止、特にその HDD 内のデータ消去が重要となっております。

良質な中古情報機器の普及を目指す事業者関係団体である中古情報機器協会（RITEA）では、このような問題への対処方法として、昨年 2 月に「情報機器の売買・譲渡時におけるハードディスクのデータ消去に関するガイドライン」を策定し発表致しましたが、我が国には多数のデータ消去ソフトウェア製品が存在しており、このガイドラインに対応したソフトウェアかどうかわかりにくい状況となっていることから、今回の認定資格制度により、中古情報機器を取扱っている事業者等が安心して使用できるデータ消去ソフトウェアの具体化を目指すものです。なお、このような使用者側の立場からの評価によるデータ消去ソフトウェア認定制度は国内初であります。

当協会が今回認定するパソコン用 HDD データ消去ソフトウェア資格の調査内容は、

(a) データ消去評価

（データ消去後、間違いなくデータ消去されていること。）

評価としては、HDDの全てのセクタの内容について、消去ソフトウェアと別な専用ソフトウェア、または専用装置を用いて、消去確認を行う)

(b) OS非依存性評価

(HDDにインストールされたOSに依存せず、消去が可能であること。

評価としては、消去ソフトウェアがそれ自身で起動及び実行できることの確認を行う)

(c) HDD不具合検出評価

(HDDに何らかの異常があった場合に、それを検出できること。

評価としては、コントローラ異常やプラッタ(HDDの円盤部)異常のサンプルHDDに対してデータ消去を行った場合に、エラーを表示し、作業を一度停止することの確認を行う)

(d) 処理終了メッセージ評価

(消去処理が終わった場合のメッセージ出力、または、ログ(履歴管理)ファイルに記録された内容が適切であること。

評価としては、正常終了または異常終了のメッセージやエラー情報が、表示またはログファイルに記録されていること等の確認を行う)

(e) 証明書機能評価

(データ消去後に、情報を収集してデータ消去作業終了(完了)書の電子データが作成できること、または、データ消去作業終了(完了)書の元となる情報を収集して、表示またはログファイルに記録することができること。この情報とは、①消去日付・時刻、②パソコン装置の型名、③パソコン装置の製造番号、④消去方式、⑤HDDの型名、⑥HDDのシリアル番号、⑦HDD容量を示す。

評価としては、消去ソフトウェアでこの作業が行うことができることの確認を行う)

から構成されています。

また、調査の実施については、評価用パソコンを多種類保有されている我が国大手のパソコンメーカーと別大手のパソコンメーカー関係会社の2社に依頼し、両社の調査結果共に合格の判定が出たソフトウェアに対し、当協会が判断し、認定の資格を付与するものです。

資格を取得した事業者については、当協会WEBサイト(URL: <http://www.ritea.or.jp>)で本日以降順次公開致します。

今回、「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格を取得されたソフトウェアは、以下の6種であります。(有効期間は、平成22年1月末までの2年間)(ソフトウェア名の50音順で表記)

(1) Blancco-Data Cleaner+ Version4.8

(開発元 : Blancco Oy Ltd. 国内総販売代理店 : 株式会社オークネット)

(2) DataSweeper Ver 1.9x

(アドバンスデザイン株式会社)

(3) FlashErase v 1.1.x

(株式会社ウルトラエックス)

(4) FlashErase TEE v 1.1.x

(東電環境エンジニアリング株式会社)

(5) Neo' z NEODELETE HD データ内容消去ソフト ver2.0

(株式会社NTTネオメイト)

(6) Perfect Easy Eraser 3 Ver 3.02a

(開発元 : オリエントクリエイティブ株式会社 販売元 : オリエント測器コンピュータ株式会社)

「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格を取得したソフトウェアの製品開発・販売元事業者は、当該ソフトウェア製品に対して、「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」ロゴをカタログや商品等に印刷して市場に告知することができます。

・「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」ロゴ例



RITEA 認定
パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブ
データ消去ソフトウェア
E-xxxx(01)

なお、第2回目以降の「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格評価の実施は、別途、当協会Webサイト (URL: <http://www.ritea.or.jp>) でお知らせ致します。

当協会は、良質な中古情報機器の認知度向上および普及活動を行い、中古情報機器市場の発展を目指すほか、中古情報機器市場の存在が使用済み情報機器の売却・譲渡益をもたらし、新規情報機器市場における買換・買増需要の拡大に貢献していることから、今後も既存の関係業界団体とも連携して、我が国の情報機器市場の発展に寄与する為、今後も種々

の活動を進めてまいります。当協会の活動を外部から審査・助言をして頂く「RITEA 外部審議会」を設立することに致します。

今回、就任されたメンバーは、以下の4氏であります。(氏名の50音順で表記)


- ・藤田 慶喜様
(桜美林大学名誉教授 日本マクロエンジニアリング学会会長)
- ・細田 衛士様
(慶應大学経済学部教授)
- ・松岡 功様
(ITジャーナリスト 月刊アイティセレクト前編集長)
- ・脇 英世様
(東京電機大学工学部教授)

当協会は、中古情報機器の活用が情報機器の長寿命化につながることや商品化の製造工程が省略できることの特徴を活かし、廃棄物発生抑制やCO₂排出削減といった環境・循環型社会への貢献も目指します。

- 本件に関するお問合せ窓口：有限責任中間法人 中古情報機器協会
住所 〒105-0011
東京都港区芝公園 1-3-5 ジー・イー・ジャパンビル 2F
電話番号 03-5777-6603 (平日 9:30 ~ 18:00)
担当 小澤
- Webサイト URL: <http://www.ritea.or.jp>

以上

※「有限責任中間法人 中古情報機器協会」(RITEA)の英語名称：
「Refurbished (Reuse) Information Technology Equipment Association」

※※「中古情報機器協会」、「RITEA」及びは「有限責任中間法人 中古情報機器協会」の登録商標です。

※※※ 今回評価を行ったパーソナルコンピュータ内蔵のハードディスクドライブは、全てIDEインターフェースとなっています。